

令和7年度 笑顔と学びの体験活動プロジェクト

子供企画型 レポート

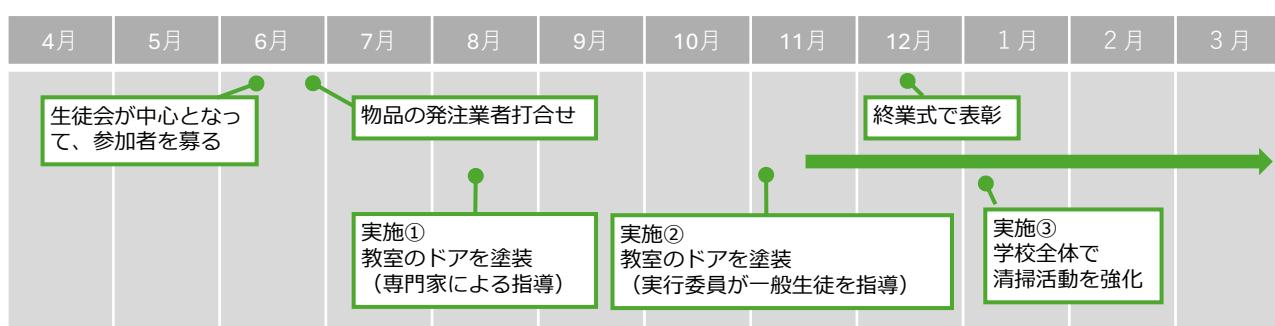
クリーニング大作戦！ ～みんなで学校をきれいにしよう～

都立三田高等学校

教育計画上
のねらい

- 主体的に学ぶ態度の育成：学校の課題や環境改善に自ら関心を持ち、解決に向けて積極的に行動する態度を育てる。
- 協働性・コミュニケーション能力の育成：役割分担・合意形成・振り返りなどの活動を通して、協働的に学ぶ力を高める。
- 社会参画意識・学校への帰属意識の醸成：学校や地域社会の一員として、公共心や社会参画の意義を理解し、よりよい社会づくりに貢献しようとする態度を育てる。

児童・生徒の企画内容
年間スケジュール



児童・生徒の声



企画に関わった
児童・生徒

「自分たちの手で学校をよくできるんだと気づいて、次の企画にも挑戦したくなりました。」、「最初は大変そうだと思っていたけど、企画の段階から関わられたので達成感が大きかったです。学校でこんな経験ができるとは思いませんでした。」

参加した
児童・生徒

「自分たちの手で学校の雰囲気が変わるのが嬉しかったです。学校をもっと良くしたいと思う気持ちが強くなりました。」、「学年を超えて協力しないとできない作業だったので、人との関わり方を学べました。普段話さない人とも自然に話すきっかけになりました。」

取組・実践



教室のドア

専門家による指導

本校では、夏季休業中に「ペンキプロジェクト」を実施しました。この取組は、校内の老朽化した教室のドアを生徒自身の手で塗り替えるものであり、専門家の技術指導を受けながら、学年を越えて協働的に進めることができました。生徒は、専門家から塗装技術や道具の扱い方を学ぶ過程で、計画性や作業工程の共有の重要性を理解し、チームで役割分担を行うなど、協働的な学びを自然に体験していました。



生徒のみで教室ドアを塗装

生徒主体の塗装作業

11月には、生徒主体で追加の塗装作業に取り組み、学んだ技術を自ら活用しながら活動を発展させました。これは「教わって終わり」ではなく、学習した内容を自分たちだけの力で応用・実践するという、高校生に求められる探究的な学びの姿につなげました。また、仲間と協力しながら試行錯誤する過程を通じて、コミュニケーション能力やリーダーシップなど、社会で求められる資質・能力の育成にもつながりました。



全校清掃強化期間

学校全体で清掃活動を強化

2学期の終業式において、表彰を行いました。生徒たちが仲間と協力し、学校をよりよい場所にしようと努力した姿勢を全校で称えることで、学校文化として「自分たちの手で学校をつくる」価値を共有することができました。また、この取組は学校づくりへの参画意識を高める契機となり、2学期後半から3学期にかけては、学校全体で清掃活動を強化し、生徒が主体的に行動する姿が一層見られるようになりました。

成
果

●校内全体がより明るい雰囲気に包まれ、生徒の学校への愛着や誇りが一層高まりました。加えて、異学年の交流や教職員との協働を通じて、学校コミュニティとしての結束が強化されました。

●生徒は、自分たちの働きかけで学校が変わる手応えを実感し、「企画する楽しさ」や「協力し合う喜び」を体験することができました。